

国内

第1回アジアラグビー交流フェスタ 開催要項

1. 趣 旨 アジアラグビー交流フェスタの開催を通して、アジア地域のラグビーの健全な普及・発展及びオリンピックやワールドカップを目指すプレイヤーのアジアレベルでの交流・育成を図ることを目的とする。
2. 名 称 第1回アジアラグビー交流フェスタ
3. 共 催 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
ラグビーワールドカップ2019福岡開催推進委員会
4. 主 管 九州ラグビーフットボール協会、福岡県ラグビーフットボール協会
福岡市ラグビーフットボール協会
5. 後 援 春日市、春日市教育委員会
6. 協 力 ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会
大分県ラグビーフットボール協会
長崎県ラグビーフットボール協会
7. 参 加 料 無料
7. 期 日 平成30年10月6日(土)～10月7日(日) 1泊2日間
※宿泊先は福岡県立社会教育総合センター
(福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2)
8. 会 場 平成30年10月6日(土) グローバルアリーナ
(福岡県宗像市吉留46-1)
※9:30までにグローバルアリーナ集合、10時より講習会・クリニック開始
平成30年10月7日(日) 春日公園球技場
(福岡県春日市原町3-1-4)
9. 参加資格
〔選手条件〕 人数:12名
日本ラグビーフットボール協会に登録された者で、2004年4月2日から2006年4月1日に生まれた男子とする。

〔指導者条件〕 人数:3名以内
10. 旅 費 参加者の福岡での滞在・移動にかかる経費(宿泊費・福岡県内交通費等)は主催者が負担し、それ以外の各県から福岡までの往復の費用については自己負担とする。
11. 内 容 ①Xラグビー講習会・ラグビークリニック
②Xラグビー交流大会
12. 負傷の処置 試合では、主催側で医療従事者もしくはセーフティーアシスタントを配置する。ただし各チームでメディカルスタッフを確保している場合はこれを認める(ビブス着用)。
また、試合中のケガに対して、テーピング等対応するが、それ以外は各

チームでの対応とする。そのため救急用品は各チーム・個人において準備すること。救急搬送が必要な場合は、主催側（大会運営本部）が手配等を行う。

そのほか試合及び会場における一切の責任は、当該チーム及び当事者の責任において処理すること。

13. 交流試合(10/7)の競技規則及び競技方法

- (1) ワールドラグビー制定の競技規則 (X Rugby) による。
- (2) 試合時間は前半 7 分-ハーフタイム 2 分-後半 7 分で行う。レフリータイムで行う。
- (3) 参加チーム数により試合数などを決定する。
- (4) 試合に出場する選手は必ずヘッドキャップおよびマウスガードを装着すること。

14. 日 程

	日 程	
	午 前	午 後
10/5(金)	海外チーム入国（福岡入）	
10/6(土)	X ラグビー講習会・ラグビークリニック (グローバルアリーナ)	TL 観戦(グローバルアリーナ) 宗像サニックス vs トヨタ自動車
10/7(日)	X ラグビー交流大会（春日公園球技場）	
10/8(月)	「福岡市民スポーツフェスタ 2018」（平和台陸上競技場） 日本文化体験及び開催地住民との交流・タグラグビー	
10/9(火)	出国（福岡出）	

※10/6 及び 10/7 に、海外の普及育成担当者を対象としたワールドラグビー主催の「Growing the Game」を実施予定です。（時間は未定）

〔各チームへの事前連絡事項〕

○宿泊施設の概要について

- ① 宿泊施設では、4 人 1 部屋で宿泊することになります。
- ② 入浴については、大浴場で共同入浴となります。ただし、個室の風呂も 1 か所あるので必要に応じて利用できるようになっています。
- ③ 朝夕の食事はビュッフェ形式の食事になります。
- ④ 宿泊施設は、周辺には商業施設が極めて少ない場所になります。
- ⑤ 洋式トイレが少ない施設となっています。